

中国語教育学会会報

第57号(通巻82号) 2020年5月16日発行

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院 人文学研究科
丸尾誠研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 会長挨拶
2. 新役員紹介
3. 委員紹介、研究会担当紹介
4. 中国語教育学会第18回全国大会開催方式変更のお知らせ
5. 事務局からのお知らせとお願い
 - 5.1 事務局移転について
 - 5.2 新入会員について
 - 5.3 個人情報の変更等について
 - 5.4 各種情報提供のお願い

1. 会長挨拶 丸尾誠

この4月から2020～2021年度の会長を務めさせて頂くことになりました、名古屋大学の丸尾誠です。この挨拶の原稿を書いている時点では、新型コロナウイルスのニュースが連日、報道されています。一刻も早い事態の収束と、入院されている方々の回復を祈るばかりです。

発生当初にテレビで武漢の街並みをご覧になった方も多いでしょう。ビルが立ち並び、都会という印象を持たれたことと思います。私は学生のころ旅行で武漢に立ち寄ったことがあります。そのときはあのようなビルは建っておらず、駅前で「貸し歯ブラシ屋」なる商売を見かけたこともあり、北京の中心街などと比べると、まだ発展していないと当時感じたことを覚えています。まさに隔世の感があります。しかし、私が訪れてからもう四半世紀近く経過しているのですから、街並みが変わっていて当然です。「十年一昔」という言い方がありますが、この現代社会のスピードでは10年も経てば様々なことががらりと変化していても何ら不思議ではありません。

中国語教育においても、このような社会の変化のスピードにあわせて、何をどう教えるかといった点をアップデートしていく必要があります。私自身がこれまでに学んで身につけた単語も一部もう古くなっているようですが（例：火車站、公共汽車、晚会…）、通常の授業で使用している教科書に掲載されている時間表現“三刻”など、中国人留学生に自分は使ったことがないと言われると、果たしてこれは個人的な習慣の問題として処理してよいのか、教える側も

戸惑ってしまいます。中国語の文の成立の可否の揺れなどは、しばしば悩まされる問題です。同様の体験は実際に教えている多くの方がお持ちのことでしょう。そうした話題をお互いに語り合い、それを共有の財産として教授法に反映させていけるよう、本学会の各種活動がその一助になればと願っています。

本学会の発展には、理事各位および会員の皆様のご協力が欠かせません。どうか、更なるご支援とご指導を賜りますよう、よろしく願いいたします。

以上が通常の就任挨拶のはずでしたが、今回は就任早々、新型コロナウイルス感染拡大により、6月の大東文化大学における全国大会の中止という前代未聞の事態に至ってしまいました。一方で、諸般の事情に鑑みて、これに代わるものとして、オンラインでの全国大会を開催できる運びとなりました。詳細は下記「4. 中国語教育学会第18回全国大会開催方式変更のお知らせ」をご覧ください。

2. 新役員紹介（2020年4月～2022年3月）

昨年末に行われました選挙において得票数10位以内の会員のうち就任を承諾して下さった方に加えて、内規に基づき地域や勤務先のバランス等を考慮して更に5名の方に理事をお願いすることになりました（選挙結果につきましては会報第56号をご覧ください）。手続きとしては、6月に開催予定の会員総会の承認を経て正式に決定します。

（以下、五十音順。敬称略）

顧問：荒川清秀、興水優、佐藤富士雄、依藤醇

会長：丸尾誠

代表理事：古川裕、三宅登之、山田眞一

理事：阿部慎太郎、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、佐々木勲人、謝平、鈴木慶夏、西香織、氷野善寛、平井和之、藤井達也、村上公一

幹事：勝川裕子、趙宏剛、望月雄介

会計監査：塩山正純、日下部直美

3. 委員紹介、研究会担当紹介

（以下、五十音順。敬称略）

『中国語教育』第19号（2020年度）編集委員会

阿部慎太郎、安藤好恵（委員長）、郭春貴、長谷川賢、藤井達也、紅粉芳恵、安本真弓、
兪鳴蒙

デジタルリソース委員会

伊藤大輔、田邊鉄、中田聡美（委員長）、氷野善寛

第18回全国大会（2020年度）大会準備委員会

(2019年6月～2020年4月)

安藤好恵、勝川裕子、齋藤貴志、田村新、平山邦彦、山口直人（委員長）

(2020年4月～2020年6月)

阿部慎太郎、伊藤大輔、植村麻紀子、勝川裕子、清原文代（委員長）、鈴木慶夏、田邊鉄、中田聡美、氷野善寛、紅粉芳恵

研究会担当（2020年度）

東日本担当：植村麻紀子（神田外語大学）、鈴木慶夏（神奈川大学）

西日本担当：阿部慎太郎（近畿大学）、謝平（福岡大学）

中国語教育学会は年に数回（不定期）、日本各地で研究会を開催しています。研究会での発表を希望される方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

研究会担当メールアドレス（植村・鈴木）kanto@jacle.org

研究会担当メールアドレス（阿部・謝）kansai@jacle.org

4. 中国語教育学会第18回全国大会開催方式変更のお知らせ

2020年3～4月に、新型コロナウイルス蔓延の事態に鑑み、旧理事および新理事それぞれの間で、今年度全国大会の実施の可否について、メールによる会議が行われました。その結果、当初予定していた大東文化大学における全国大会は開催中止という事態に至りました。残念でしかたがありませんが、現状に鑑みると中止もやむを得ないものと言わざるを得ません。何より講演や発表を予定していた方々は、この日のために周到な準備をされていたことを思うと、心中お察し致します。山口直人氏を委員長とする大会準備委員会および関係の方々に至っては1年前から、開催に向けて尽力されてきました。この中止の件は講演やシンポジウム、研究発表にとどまらず、『中国語教育』編集委員会、理事会および会員総会の開催といったことにまで波及します。こうした事態を受けて、理事会では新たな開催方式を模索した結果、清原文代氏を委員長とする準備委員会を新たに設置し、オンラインでの全国大会を開催することになりました。なにぶん前例のない初の試みとなりますので、関係者の中で協議しつつ、準備を進めていく所存です。（会長 丸尾誠）

以下、プログラムです。

1日目（6月6日（土））理事会・総会・談話会

13:00-15:00	理事会（Zoomによるオンライン開催）
16:00-17:00	会員総会（Zoomによるオンライン開催）
18:00-20:00	談話会（Zoomによるオンライン開催）

※初日に予定されていた基調講演・シンポジウムは中止いたします。

2日目（6月7日（日））分科会

	分科会A -1	分科会B -1
10:00-10:30	李怡宁（大阪大学・院）	張立波（東北大学）
	任务型项目式教学在汉语言基础课教学上的应用——以汉语言专业汉语听说课为例——	中国語における離合詞の学習習得の一考察
10:40-11:10	王維亭（千葉大学）	胡良娜（東京外国語大学・院）
	在大学汉语教学中如何通过情景练习来提高学生的互动及会话能力	中国語学習者の作文データに表れた“了”の習得状況の分析
11:20-11:50	大羽りん（神奈川大学・非）	路浩宇（関西学院大学）
	1人对30人——コール教室を使用した「会話」の授業	关于汉语教材中“有”字句的引入
司会	渡邊 ゆきこ（沖縄大学）	謝 平（福岡大学）

11:50-13:00	昼食	
-------------	----	--

	分科会A-2	分科会B-2
13:00-13:30	小川典子（立命館大学）	石井友美（岡山大学）
	継承中国語学習者の言語能力—その特性と大学入学後の言語能力の変化—	大学における中国語多読の実践—8か月の多読活動を通して
13:40-14:10	李光曦（大阪大学・院）	橋本 愛（九州国際大学） 眞島 淳（福岡大学）
	日本大学生汉语继承语学习者的身份认知——从学习动机・学习环境・语言能力三种影响因素考虑——	理解度促進のための授業内「予習シート」—アクティブラーニング型文法学習の試み
14:20-14:50	邵明明（首都師範大学）	石田智裕（東京外国語大学・院）
	日本华裔和非华裔汉语学习者学习动机对比研究	日本語L1中国語学習者による助動詞の習得—未実現の“要”,“能”を中心に—
司会	加藤 晴子（東京外国語大学）	中西 千香（立命館大学）

	分科会A-3	分科会B-3
15:05-15:35	張婧禕（宮崎大学）	郭楊（九州大学・学術研究員）
	ピンインは本当に中国語教養教育を助けるのか？—入門レベルの理工系日本人学生を対象とした実証研究—	「是～的」構文の「的」のアスペクト性についての考察

	曲明（室蘭工業大学）	青野英美（神田外語大学）
15:45-16:15	学生が望む第二外国語教育としての中国語教育—ある国立大学の学生によるアンケート調査のデータに基づいて—	“是…的”（2） 形式的語用功能及教學指導
司会	山田 眞一（富山大学）	三宅 登之（東京外国語大学）

5. 事務局からのお知らせとお願い

5.1 事務局移転について

会長交代にともない、事務局を以下に移転しました。

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院 人文学研究科

丸尾誠研究室内

中国語教育学会事務局

headoffice@jacle.org（変更ありません）

電話・ファックスによるお問い合わせは受け付けておりません。あしからずご了承ください。

5.2 新入会員について

2020年5月15日現在の会員数は526名（うち顧問・名誉会員30名、住所不明者25名）です。なお、会報第56号掲載分以降（2019年11月22日～）の新入会員は以下の通りです（敬称略）。

邵明明（首都師範大学）、劉時珍（一橋大学・非）、望月雄介（名古屋大学・院）、李怡寧（大阪大学・院／大連理工大学国際教育学院）、石一含（長崎国際大学・非）、王美蘭（福岡国際医療福祉大学）、曹泰和（明海大学）、馮日珍（日本女子大学・非）、佐藤直昭、田村加代子（名古屋大学）、関久美子（東京学芸大学・非）、山口千佳（東京学芸大学・非）、尾形幸子（法政大学・非）、西口智也（愛知文教大学）、欧麗賢（中国広州大学）、肖海娜（立命館大学）、王怡人（早稲田大学・院）

5.3 個人情報の変更等について

本学会では、会員の個人情報につきましては各会員ご自身により入力して頂くことになっております。所属や連絡先、郵便物の送付先等に変更が生じた場合は、本学会ホームページにリンクされている「WEB版会員名簿」（https://a-youme.jp/jacle/member2/login_do.php）にログインの上、登録情報を随時変更して頂きますようお願いいたします。

WEB版会員名簿（会員情報管理システム）の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。WEB版会員名簿に関するお問い合わせは下記のあゆみコーポレーションまでお願いいたします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail support@jacle.org

TEL.06-6441-5260 (代) FAX.06-6441-2055 (代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局業務の代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということを必ずお伝えください。

5.4 各種情報提供のお願い

中国語教育に関連する催し物（スピーチコンテスト・シンポジウム等）の情報がございましたらお知らせください。本会ウェブサイトに掲載し、周知の一助とさせていただきます。